

環境農政常任委員会、 かながわグランドデザイン調査特別委員会に所属

2019年度の委員会編成で、環境農政常任委員会、かながわグランドデザイン調査特別委員会に所属することが決まり、質疑を行いました。

神奈川県議会には、2種類の委員会があります。一つは常設されている「常任委員会」で、それぞれの所管事項についての調査や、本会議から付託された議案や請願・陳情の審査を行います。もう一つは特別委員会で、必要に応じて、特定の事件を審査・調査するため、臨時に設置されます。

環境農政常任委員会は、公害の防止その他環境の保全、農業、林業及び水産業、そのほか環境農政局などの仕事について審査する委員会で、今回は、「プラごみゼロ宣言」と鳥獣被害について、質問しました。



「プラごみゼロ宣言」、進ちよく状況のチェックを

「プラごみゼロ宣言」では、2030年までの、できるだけ早期に、リサイクルされない、廃棄されるプラごみをゼロにすることを目指して、様々な取り組みを行っています。

委員会質疑では、ゼロにすべきプラごみ、つまり、街中や河川などに廃棄されたプラごみについて、その量を把握することが難しいとの答弁もあり、何をもって「プラごみ」ゼロを達成できたか分かりません。

一方、今後の取り組みでは、実態調査の推進として、(1)環境科学センターが、東京理科大学と共同で河川や道路を中心に発生源の調査を実施する、(2)相模湾沿岸で回収された海洋ごみの実態調査を実施する——としています。

委員会では、こうした実態調査を通じて、「プラごみゼロ宣言」の取り組みの進ちよく状況を確認・チェックできる指標をつくるよう強く要望しました。

鳥獣被害対策、AIのさらなる活用を

県では、これまでも鳥獣被害対策にドローンを活用してきましたが、今回、ドローンを使って撮影した野生動物の画像について、AIを活用して識別を行う計画で、これにより、省力化を行うことができます。

委員会では、今後は、AIを使って野生動物の行動を予測したり、ドローンから動物が嫌がる音や光を発するなどして追い払いを行うなど、AIのさらなる活用を求めました。

活力と 安心・安全の 神奈川を目指して



- 1962年 和歌山県海南市生まれ
- 1981年 和歌山県立海南高校卒業
- 1983年 大阪外語専門学校卒業
- 1988年 創価大学文学部社会学科卒業 (在学中にアリゾナ大学に留学)
- 1989年 ロイター通信社入社 (経済記者・ロイターテレビ日本語副編集長を歴任)
- 2005年 衆院選初当選 (比例区・南関東ブロック)
- 2006年 総務大臣政務官
- 2008年 国土交通大臣政務官
- 2011年 神奈川県議選初当選 (大和市選挙区)
- 2015年 神奈川県議選2期目当選
- 2019年 神奈川県議選3期目当選

県議会

環境農政常任委員会
かながわグランドデザイン調査特別委員会

党役職

公明党 神奈川県本部 幹事長

県議会控室

〒231-8588 横浜市中区日本大通1
神奈川県議会公明党控室

TEL: 045-210-7630

FAX: 045-210-8912



- ブログ
<https://blog.goo.ne.jp/kazufumi-taniguchi>
- facebook
<https://www.facebook.com/kazufumi.taniguchi>
- ツイッター
https://twitter.com/kazu_taniguchi
- 谷口かずふみ 県政報告サイト
<https://www.kazufumi-taniguchi.com>